

特集2

教員免許更新制 なにが問題か

この4月から教員免許更新制が導入されました。09年4月以降に発行される教員免許状は10年間の有効期限が設けられました。また現職教員も10年の有効期限がつけられ、有効期限が切れる前の二年間のうちに30時間以上の更新講習を受けることが義務付けられました。現職の教員だけでなく非常勤講師も講習が義務付けられています。すでに03年度からは教職経験10年研修も実施されています。教員の負担は増えるばかりです。教員免許更新制の目的と問題点を明らかにしたい。

編集部

予備講習は

どうであつたか

西 伸 之

昨年度行われた予備講習を受けた全国の受講者からは、「講習受講で」新しい知識を得ることができ有意義だった」との肯定的な声が寄せられる一方、日教組の調査では不満や問題を指摘する次のような声も多数寄せられています。

〈講習内容〉

- 学校現場とかけ離れた内容で、実践に役立たない。
- 教員のニーズ・校種・年齢にあつてない。
- 内容があまりに高度・専門的で難しい。
- 最新の知識・技能とはとうてい言えない内容。
- 内容を聞くよりも、試験に出そうな言葉を覚えることに必死で、受講している意味をあまり感じら

れなかった。

〈認定試験〉

○講師によつて認定試験の方法が異なり（記述式・選択式・〇×式・持ち込み可など）、難易度にも差があつて、不公平感と必要性に疑問を感じた。

○どのような基準で評価されているのか不安。

○認定試験が膨大な量で、時間内では無理な内容だった（レポート20枚など）。

○記憶力を問うような内容で、認定試験にふさわしいとはとても思えない。

○講習内容と全く関係ない試験の問題だった。

〈受講申し込み〉

○管理職からの連絡や周知が不十分だった。

○ほとんどの人が情報不足。

○定員オーバーで受講できなかった。

○受講決定の通知が遅すぎる。

○コンピューターによる申し込み手続きが煩雑。

○講座数が少なく、申し込んでも受講できない。

〈受講者の負担〉

○2日間缶詰状態で、ひたすら耐えるのみで苦痛だった。

○5週連続で土日がなくなり、疲労が増し仕事も滞った。

○朝9時から午後4時まで講義を受け、即座に試験という厳しいものがあつた。

○（受講会場の）大学まで遠い受講者の交通費や宿泊費の負担が大きい。

○他県で受講したため、2日間のホテル代と交通費を自己負担。課題図書費もかかった。

○この夏季休業中は、部活動・研修・保護者会の他、講習受講で時間がとられ、通常勤務以上に多忙を極めた。そのため常に不安ななかで考えなければならぬ状態で、ゆつくり休めなかった。

不満や問題点を指摘する声のみを紹介しましたが、講習内容に満足でき「意義があつた」と答えた教員も多数います。私がインタビューした数名の方も「役立った」「目から鱗が落ちた」と、肯定的な感想を述べていました。しかし同時に全員が、「講習内容に満足しているが、免許失効の是非につなげる必要は全くないと思う」と話されていたことも事実です。「講習に満足」「更新制がいい制度」ではないことをしっかりと押さえる必要があります。研修の必要性や意義と、免許更新制は別問題なのです。

（にし のぶゆき・中学校教員）